



生活の不安と金融資産・投資

日常生活を送るうえでは残念ながら楽しいことばかりではなく、不安を抱く場面が多々あります。今回のレアソン×GMOリサーチの協同調査では、そんな「生活の不安」とその不安への対処法としての「金融資産・投資」に関するアンケートを行いました。



Q. 現在の生活において不安に感じること

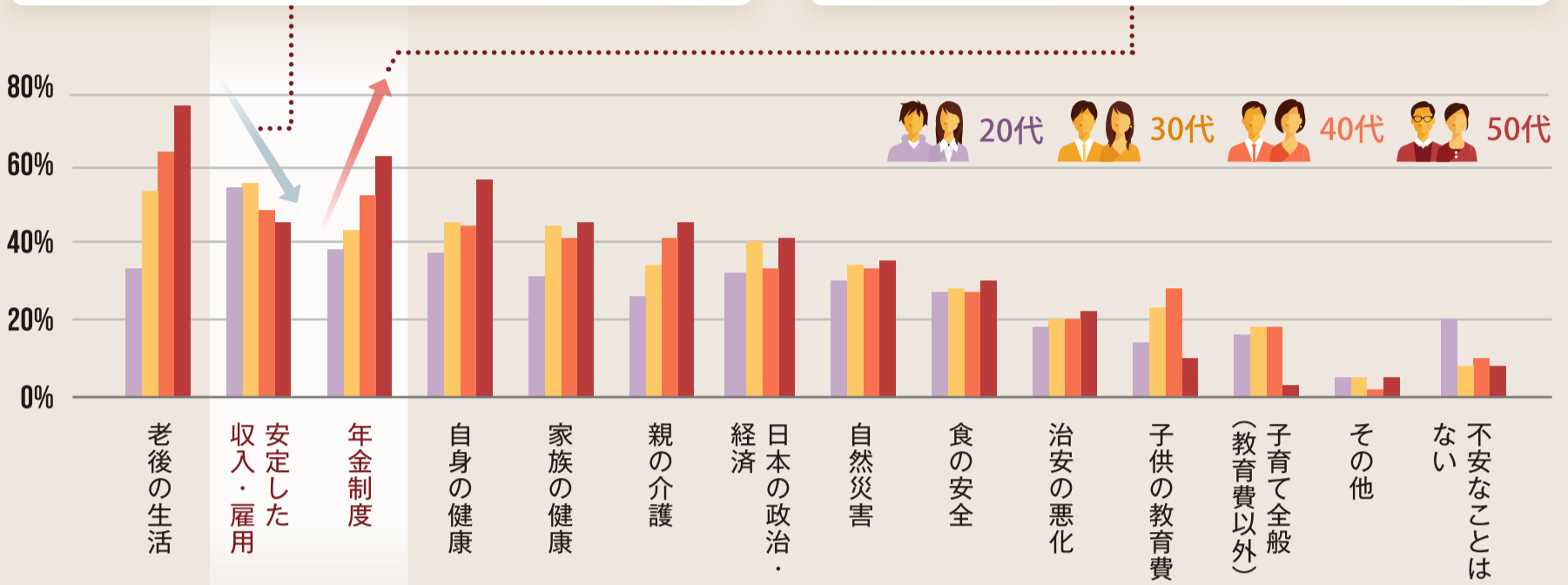
(複数回答) N=846



20代・30代で
収入・雇用について不安が多い



年代が上がるにつれ、
年金制度について不安が多い



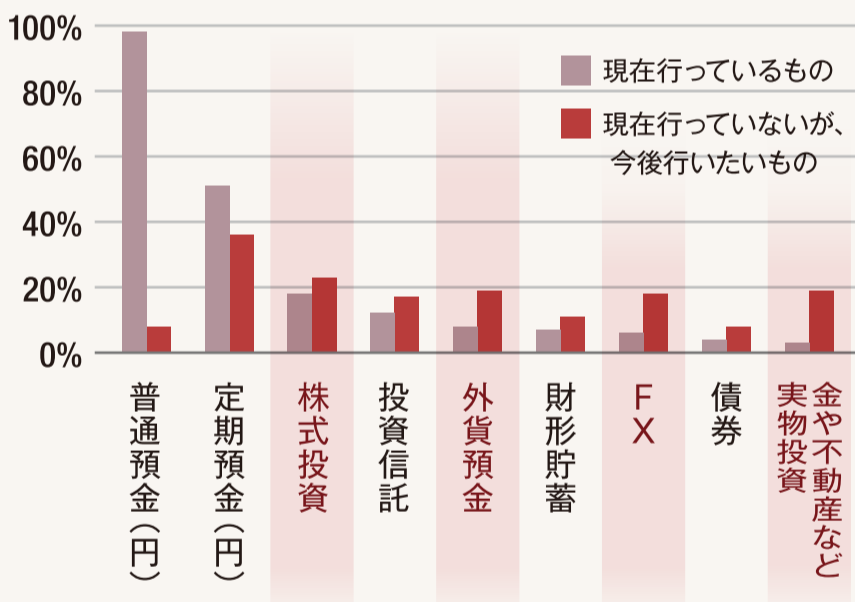
現在、生活者が感じる不安の中身は**1位「老後の生活」、2位「安定した収入・雇用」、3位「年金制度」という順番**になりました。年齢別の傾向も強く出ており、20・30代で収入・雇用について不安を感じ、40代以上になっても年金制度へ不安を感じ…と、お金に関する悩みは日々の生活において

尽きることが無いようです。また、「不安な事は無い」という回答は、20代では20%ですが、30代~50代は総じて10%（以下）となり、30歳になると色々不安が増えていく傾向があるようです。

現在の資産運用方法と今後の意向

(複数回答)

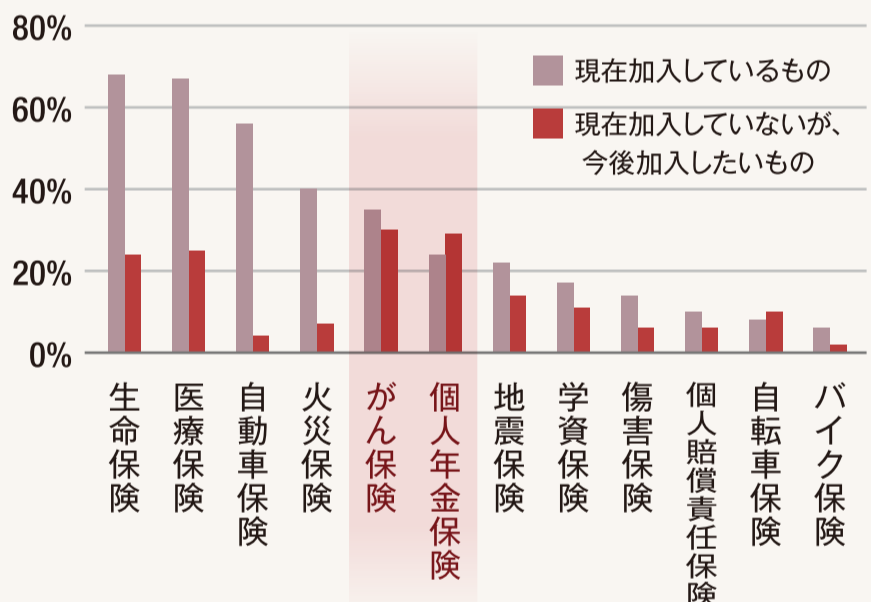
N=713 (現在の資産運用方法: 行っている方)
N=320 (今後の意向: 意向がある方)



現在の加入保険と今後の意向

(複数回答)

N=626 (現在の加入保険: 加入している方)
N=267 (今後の意向: 意向がある方)



そんな不安を払しょくするため、だけでは無いですが、いざと言う時の備えのための資産運用として、今後は「外貨預金」や「FX」、「実物資産」への投資などに注目が集まっているようです。

一方、保険商材としては「がん保険」や「個人年金保険」の加入意向が高くなっています。またこれらの保険加入時には「保険料」や「保障の充実」・「対応力がありそう」などはどの年代でも重視されていますが、20代にとっては「周囲やネットでの評判」、30代にとっては「手軽に加入できる」といったポイントも重要なようです。



保険加入時の重視ポイント

(複数回答・上位抜粋) N=846

	20代	30代	40代	50代
1位	保険料が安い			
2位	保障が充実している			いざという時の対応力がありそう
3位	いざという時の対応力がありそう			保障が充実している
4位	周囲やネットでの評判が良い	信頼できる外交員・ライフプランナーがいる		
5位	保険会社の知名度が高い	手軽に加入できる	保険会社の知名度が高い	

■ 調査期間: 2015年1月8日~2015年1月9日
■ 調査対象: 20歳~59歳の一般生活者(男女) 計846サンプル
※GMOリサーチが保有するジャパングラウドパネルよりランダム抽出

■ 調査手法: インターネット調査
■ 調査地域: 全国
■ 調査機関: GMOリサーチ株式会社、株式会社レアソン

【協同企画について】

「株式会社GMOリサーチ」と「株式会社レアソン」は2014年度8月から協同でエンタメや電子機器といったカテゴリを通して様々な角度から消費者との接点を探る調査を定期的に企画し、リリースして参ります。